

【 記 入 例 】

第3号様式（第5条、第8条関係）

補助事業 ~~（変更）~~ 収支予算書

1 収入の部 （単位：円）

収 入 科 目	予 算 額	内 訳
補 助 金	300,000	
自己資金	3,601,480	
合 計	3,901,480	

収入欄には、支出額を賄う資金の調達内訳を記載。
支出額から補助金額を差し引いた額を自己資金として記載する。

2 支出の部 （単位：円）

支 出 科 目	予 算 額	内 訳
解体工事費		別紙見積書のとおり
（補助対象）	1,604,200	
（補助対象外）	1,942,600	
消費税相当額	354,680	160,420+194,260
合 計	3,901,480	

3 交付を受けたい額の算出根拠 （単位：円）

※ 補助金交付額は、補助対象解体工事費用の半額（但し上限30万円）となっており、千円未満は切り捨てとする。

この欄には、その計算式を記載する。

例1) $1,764,620 \text{円} \div 2 = 882,310 \text{円} > 300,000 \text{円}$
 $\therefore 300,000 \text{円}$

例2) $557,700 \text{円} \div 2 = 278,850 \text{円} < 300,000 \text{円}$
 $\therefore 278,000 \text{円}$ （千円未満切り捨て）

備考

- 1 不要な箇所は二重線で消すこと。
- 2 見積書、設計書等の支出予算が確認できる書類を添付すること。